

全日中事務局だより

「骨太方針二〇二五」が決定

▼令和七年六月十三日「経済財政運営と改革の基本方針」～「今日より明日はよくなる」と実感できる社会へ～
(骨太方針二〇二五)が経済財政諮問会議での答申を経て、閣議決定された。
▼「骨太方針」という言葉はよく聞
くが、日本経済新聞の解説によれば、
「政府の経済財政 政策の基本方針を
定めた文書で、年末の予算編成に向け
た国の政策方針を示す。」

(別紙)

経済財政運営と改革の基本方針 2025
～「今日より明日はよくなる」と実感できる社会へ～

令和7年6月13日

正式名称は「経済財政運営と改革の
基本方針」で、骨太の方針は通称。首

相が議長を務める経済財政諮問会議で
策定作業を進め、毎年六月頃に閣議決

定をする。(日本経済新聞二〇二二
六、八付け記事)と記されている。

▼先の説明では、「年末の予算編成に
向けた国の政策方針を示す」とされて
いるとおり、予算編成の場では、この
「骨太方針」に盛り込まれたか否かが
大きな分岐点になるといわれている。
▼では、教育分野ではどのようなこ
とが盛り込まれたか。気になるところ
だ。主な内容の一部を紹介する。

公教育の再生・研究活動の活性化

(質の高い公教育の再生)

①より質の高い、深い学びを実現する
と同時に、一人一人の可能性が輝く
柔軟な教育課程を編成できるよう、
学習指導要領の改訂を進める。

② 高校教育改革等への国の支援の抜本

強化を図るなど、質の高い公教育の
再生を通じて我が国の学校教育の更
なる高みを目指す。

③ いわゆる高校無償化、給食無償化及び
0～2歳を含む幼児教育・保育の支
援については、令和八年度予算の編成
過程において成案を得て、実現する。

④ 教師に優れた人材を確保するため、
働き方改革の更なる加速化、処遇改
善、指導・運営体制の充実、育成支
援を一体的に進める。2029年度
までを緊急改革期間と位置付け時間
外在校等時間の月三十時間程度への
縮減を目標とし、学校・教師の担う
業務の適正化やDXによる業務効率
化、教育委員会などの取組状況の見
える化、PDCAサイクルの強化、
指導・運営体制の充実に取り組む。
⑤ 教職調整額の水準を2030年度ま
でに十%に引き上げるとともに、職

責や業務負担に応じたメリハリある給与体系への改善など、教師の処遇改善を推進する。

⑥2026年通常国会へ義務標準法改正案を提出し、財源確保と併せて、2026年度からの中学校三五人学級実現に向けた定数改善や働き方改革に資する外部人材の拡充を含め、学校の望ましい教育環境や指導体制を構築する。

⑦地域枠の活用を含む教員養成大学等の機能強化、養成段階からの教師人材の育成・確保の仕組みの改革、研修の充実、奨学金返還支援の学部段階を含む更なる検討に取り組む。

⑧学校の働き方改革を通じたこともたちの豊かな学びを実現するため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組や部活動の地域展開・連携の全国実施を加速するとともに、多様な児童生徒の教育機

会を保障するため、特別支援教育の体制や環境の充実を推進する。

▼今回の「骨太方針二〇二五」の内容を生かした令和八年度予算案について十二月には、どのような具体策と予算額が示されるのか。あべ文科大臣は、中学校三五人学級実現のためには、教員一万七千人の増員のため、約四百億円の予算要望を行うと表明している。

▼全日本中学校長会としても、様々な機会を通して、文科省はもちろん、文教関係の国会議員への働きかけを今後も進めていくことが重要であると考えている。

「香川大会」準備進む

▼五月三十日、香川県高松市を訪問した。十月に開催される香川大会の全体会場や分科会会場を下見させていただけでなく、実行委員の皆様と情報交換を行った。現地で、香川県中学校長会の準備状況を聞き、頭が下がる思い

であった。

▼全体会場と各分科会会場は徒歩十分程度での移動が可能だ。

全体会場は、徳川家康の孫で、徳川光圀（水戸黄門）の兄にあたる松平頼重の居城であった高松城史跡「高松城跡玉藻公園」に隣接し、穏やかな瀬戸内海も一望できる。

また、分科会場も含め、JR高松駅から徒歩で移動が可能な恵まれた立地だ。香川大会を楽しむにしていたきたい。

（事務局長 富士道正尋）

